

イザヤ書個人研究のための資料キット

LDS プロボインスティチュート日本語クラス：旧約聖書イザヤ書特別講座

イザヤ書はイエスご自身が各自熱心に研究するようにと勧められた預言書の中の預言書です。もし、私達がイザヤ書を敬遠し、日曜学校の時間だけを使って勉強するのなら現在20歳の人の人生が80歳までとした場合、4年毎に回ってくる旧約聖書ではおそらく60年の間に15時間ほどしか学ぶことができません。60年で15時間！これは救い主の言われた「熱心に研究する」ということになるでしょうか？イザヤ書を理解するためには個人での研究が絶対必要なのです。イザヤ書を理解することは福音の理解度を次の段階に進ませるためにもとても有用な要素です。この教材とインスティチュートのテキスト資料を合わせてイザヤ書を研究するときに皆さんのがイザヤ書に隠された真理の光を見出せるようになることを願ってやみません。

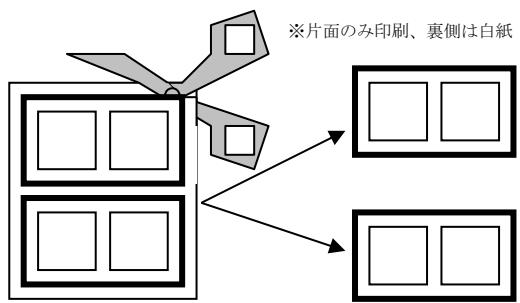
2019年9月10日 黒木

注) この教材はクラスの生徒の研究の助けとして個人的に作成したものであり、教会の公的出版物ではありません。内容に間違いを見つけた場合にはご自分で修正を加えてください。

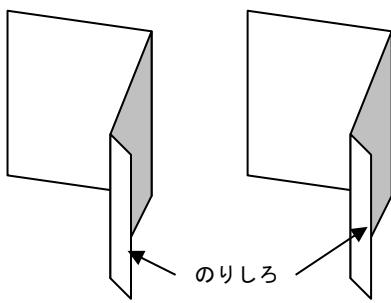
資料の組み立て方

この資料は組み立てると蛇腹の冊子になって使えるようにできています。以下の説明の通りに組み立ててください。（両面印刷はしないでください）

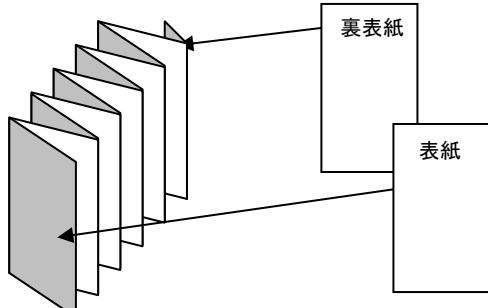
①順番に外枠をきれいに切り取ります。1ページから2枚の紙が切り抜けるはずです。



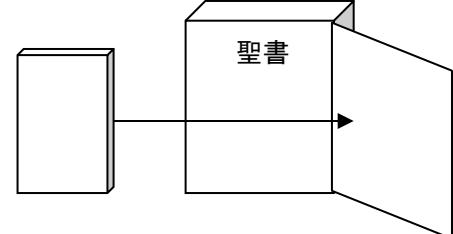
②切り抜いた紙を真ん中と「のりしろ」の2ヶ所でたてに折り曲げます。



③「のりしろ」の部分にのりをつけ、順番につなげていきます。



④完成したら聖書などと一緒に保管します。



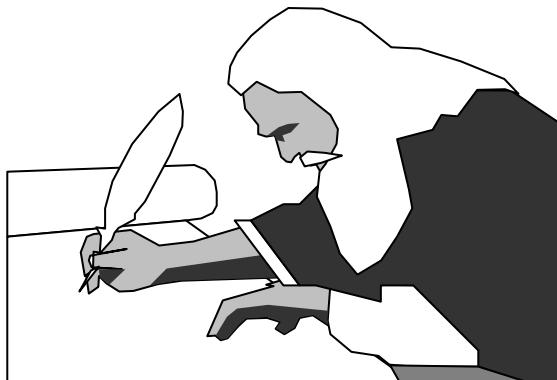
イザヤ書個人研究用資料

LDS プロボインスティチュート日本語クラス
2019 年改訂第3版

さて見よ、私はあなたがたに言う。あなたがたはこれらのことと調べなさい。まことにわたしは、これらのことと熱心に調べるようにという戒めを、あなたがたに与える。

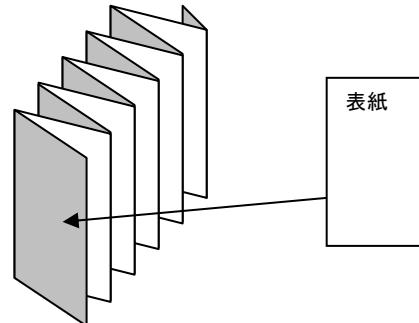
イザヤの言葉はまことに偉大だからである。

(第三ニーフアイ 23 章 1 節)



単語表・地図・列王時代の王と預言者表
福音年表・ヘブライ文法・関連聖句・データ

※型くずれ防止のため、表紙は厚手の紙に印刷してください。



最初のページの裏に
貼り付けます

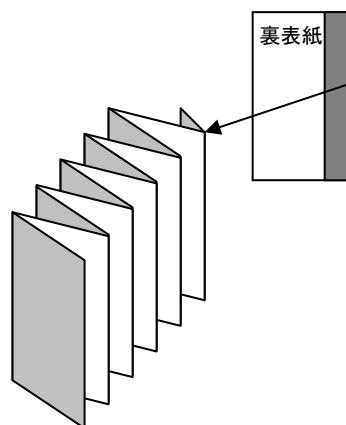
<=表紙

イザヤ書はイエスご自身が各自熱心に研究するようにと勧められた預言書の中の預言書です。もし、私達がイザヤ書を敬遠し、日曜学校の時間だけを使って勉強するのなら現在 20 歳の人の人生が 80 歳までとした場合、4 年毎に回ってくる旧約聖書ではおそらく 60 年の間に 15 時間ほどしか学ぶことができません。60 年で 15 時間！これは救い主の言われた「熱心に研究する」ということになるでしょうか？イザヤ書を理解するために個人での研究が絶対必要なのです。イザヤ書を理解することは福音の理解度を次の段階に進ませるためにもとても必要な要素です。この教材とインスティチュートのテキスト資料を合わせてイザヤ書を研究するときに皆さんのがイザヤ書に隠された真理の光を見出せるようになることを願ってやみません。

2019 年 9 月 10 日 黒木

注）この教材はクラスの生徒の研究の助けとして個人的に作成したものであり、教会の正式な出版物ではありません。内容に間違いを見つけた場合にはご自分で修正を加えてください。

の
り
し
ろ



<=裏表紙

イザヤ書難解単語表1

| | | |
|--------|-----------|---|
| ～ゆえに | ～ゆえに | ～によって、～にしたがって |
| アイアテ | あいあて | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| 青菜 | あおな | 緑色の葉菜 |
| 青虫 | あおむし | チョウやガの幼虫のうち、体に長い毛がなく、緑色をしているものの總称 |
| アカシヤ | あかしや | マメ科アカシア属の常緑樹の總称。葉は羽状複葉。花は黄色、まれに白色で、多数集まって穗状に咲く |
| あがないしろ | あがないしろ | あがないのための代金 |
| 灰汁 | あく | 植物を焼いた灰を水に浸して得る上澄み液。アルカリ性を示し、古来、洗剤・漂白剤として、また染色などに用いた |
| 飽く | あく | 飽きる |
| あくた | あくた | ごみ、くず、かす |
| 明けの明星 | あけのみょうじょう | 明け方に東の空に輝く金星 |
| アコルの谷 | あこるのたに | ギルガルに近い、エリコの北の肥沃な谷 |
| 麻 | あさ | クワ科の一年草。高さ1~2.5メートル。茎の皮から纖維をとり、麻糸にする。 |
| 葦 | あし | イネ科の多年草。根茎は地中をはい、沼や川の岸に大群落をつくる。高さは2~3メートルになり、茎は堅く、円柱形で、細長い葉が互生する。 |
| 足台 | あしだい | 足を置く台 |
| アシド | あしどど | 死海の東、地中海に面した場所にある都市 |
| 足なえ | あしなえ | 足に力が入らず歩けない人 |
| アシラ | あしら | 偶像の神 |
| あずまや | あずまや | 庭園などに設けた四方の柱と屋根だけの休息所 |
| あだ | あだ | うらみ、かたき、しかえしをしようとする相手 |
| 頭飾り | あたまかざり | 頭につける飾り |
| アッシリヤ | あっすりや | カスピ海の南西あたりに位置する王国、アッシリアとも言う |
| あつもの | あつもの | 「熱物(あつもの)」の意。魚・鳥の肉や野菜を入れた熱い吸い物。スープ |
| アナトテ | あなたと | おそらくイスラエル北部の町、アッシリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |

イザヤ書難解単語表2

| | | |
|--------|--------|---|
| アハズ | あはず | ユダ王国12代目の王 |
| アブラハム | あぶらはむ | イスラエルの先祖、一族を今のイスラエル地方へ入植させた神の預言者。 |
| 亜麻布 | あまぬの | 亜麻で作られた布、亜麻はアマ科の一年草。高さ約1メートル。茎から纖維をとる |
| アモリびと | あもりびと | イスラエルが来る前にカナンに住んでいた民族。不信教と異教の神を崇拜していた。 |
| 荒布 | あらぬの | 粗末な布 |
| アラビヤ | あらびや | アラビヤ半島の国 |
| あらぶる | あらぶる | 荒々しく乱暴な |
| アラム語 | あらむご | セム語族に属する言語。古代西アジアの共通語として広く使用された |
| アリエル | ありえる | エルサレムの別名 |
| アル | ある | 死海東のモアブにある町 |
| アルノン | あるのん | 死海に東から注ぐ川 |
| アルバデ | あるばで | アッシリヤによって滅ぼされた古代都市 |
| 荒れ跡 | あれあと | 崩壊した場所 |
| 荒塚 | あれづか | 荒れ果ててしまった塚、あるいは墓 |
| アンチモニー | あんちもにー | 宝石の一種(?)塞素族元素の一。元素記号 Sb 原子番号五一。原子量一一一・八。銀白色の固体金属 |
| アンモン | あんもん | 死海北西の国 |
| 硫黄 | いおう | 酸素族元素の一。単体は無臭の黄色結晶。温泉や火山帯に産する。空気中で熱すると青い炎をあげて燃え、悪臭のある二酸化硫黄(亜硫酸ガス)を生じる。火薬・マッチ・医薬品の原料、ゴム製造などに使用 |
| 威嚇 | いかく | 威力をもっておどすこと |
| 憤り | いきどおり | 腹をたてて怒ること |
| 憤る | いきどおる | 激しく腹を立てる。憤慨する |
| 威光 | いこう | 人をおそれさせ、従わせる力や勢い。威勢。 |
| いこわせる | いこわせる | 休ませる、休息を与える |
| いさかい | いさかい | 言い争い。言い合い。また、けんか |
| 石うす | いしうす | 穀物を精白したり、粉にしたり、餅(もち)をついたりする石でできた道具 |
| 石がき | いしがき | 石でつくった垣根 |

イザヤ書難解単語表3

| | | |
|--------|--------|---|
| 石塚 | いしづか | 石でできた塚、あるいは墓 |
| 石灰 | いしはい | 生石灰(酸化カルシウム)や消石灰(水酸化カルシウム)のこと。せっかい。 |
| 鋸た、鋸る | いた、いる | 溶かした金属を鋸型(いがた)に流し込んで器物をつくること |
| いだす | いだす | 出す |
| いちじく | いちじく | クワ科の落葉高木。高さ約4メートル。実は熟すと暗紫色になり、甘く、生食のほかジャムなどにする |
| いつくしみ | いつくしみ | いつくしむこと。恵み。慈愛 |
| 射手 | いて | 弓を射る人 |
| いとすぎ | いとすぎ | ヒノキ科の常緑高木。高さ約45メートルにも達する。 |
| いにしえ | いにしえ | 過ぎ去った古い時代。過ぎ去った月日。昔。過去 |
| いのんど | いのんど | セリ科の多年草。葉は羽状に切れ込む。ビクルスなどの香辛料や薬用にする。姫茴香(ひめうきょう)。ディル。 |
| いばら | いばら | とげのある低木の總称 |
| いぶき | いぶき | 息を吐くこと。呼吸 |
| 異邦人 | いほうじん | イスラエルではない人々 |
| 忌む | いむ | 不吉なものとして避ける、嫌う |
| 癪す | いやす | 傷をなおす、なぐさめる |
| いらくさ | いらくさ | イラクサ科の多年草。関東以西の山地に自生。高さ0.5~1メートル。茎から纖維をとり、若芽は食用。イラクサ科の植物は纖維組織がよく発達し、ウワバミソウ・カラムシなども含まれる。いたいたぐさ |
| インマヌエル | いんまねえる | 予言であたえられたキリストの名、「神われらとともにいます」という意味 |
| ウジヤ | うじや | ユダ王国10代目の王、アザリヤともいう |
| 薄織の上着 | うすおり | 薄い生地で織られたファッショニ性の高い布 |
| うちぎ | うちぎ | 日常の着物。ふだん着、下着 |
| 打ち場 | うちば | 打つ場所、脱穀の場所 |
| 腕輪 | うでわ | うでにつける飾り |
| うとんじる | うとんじる | 軽んじる、ばかにする |
| うね | うね | 作物を植えつけたり種をまいたりするため、畑の土を幾筋も平行に盛り上げた所 |

イザヤ書難解単語表4

| | | |
|-----------|-----------|---------------------------------|
| 乳母 | うば | 育ての母 |
| うまずめ | うまずめ | 子供のできない女性 |
| 営 | えい | 軍隊の宿泊場所 |
| エグライム | えぐらいむ | 死海のすぐ北にある町 |
| エグラテ・シリシャ | えぐらて・シリシャ | おそらくエジプトとモアブの中間あたりにあった町 |
| エジプト | えじぶと | イスラエルの南方に位置する偶像崇拜の国 |
| エシュルン | えしゅるん | ヘブライ語で「高潔な、美しい」の意 |
| エチオピヤ | えちおびや | アフリカ大陸南部、あるいは全部 |
| エッサイ | えっさい | ダビデの父、キリストの先祖 |
| エドム | えどむ | 死海南西の赤土の土地 |
| エバ | えば | 約22リットルの固体容量 |
| 腋 | えびら | 矢を入れる武具 |
| エフライム | えふらいむ | ヨセフの子、十二支族の長子権持つ |
| エラム | えらむ | ペルシャ湾の北にある国 |
| エリアキム | えりあきむ | 祭司ヒルキヤの息子で善人、キリストのひながたとして書かれている |
| エルサレム | えるされむ | ユダ王国の首都 |
| エレアレ | えれあれ | 死海北東アンモンの地にある都市 |
| 縁故 | えんこ | 血縁・姻戚(いんせき)などによるつながり |
| おおい物 | おおいもの | なにかを覆うもの |
| 大路 | おおじ | おおきな道 |
| おけ | おけ | 細長い板を縦に円形に並べて底をつけ、たがで締めた筒形の容器 |
| 興す | おこす | 衰えていたものを再び勢いづかせる |
| 幼な子 | おさなご | 小さなこども |
| おし | おし | 口がきけない人 |
| おじ恐れる | おじおそれる | ひどく恐れる |
| 落人 | おちうど | 戦に負け、人目を避けて逃げていく人 |
| 落ち穂 | おちほ | 収穫したあとに落ちこぼれている稻・麦などの穂 |
| おとずれ | おとずれ | 便り。消息。音信 |
| おどろ | おどろ | みだれて生えているとげのある植物 |
| おのが | おのが | 自分の |
| おののき | おののき | 怖くて震えること。戦慄(せんりつ)。 |

イザヤ書難解単語表5

| | | |
|--------|--------|---|
| おのれ | おのれ | 自分自身 |
| 汚物 | おぶつ | 汚いもの。特に、排泄(はいせつ)物 |
| オフル | おふる | 紅海南岸(といわれている)の金や宝石を産出する国 |
| オリブ | おりぶ | モクセイ科の常緑高木。高さ7~18メートル。葉は細長く、表面が暗緑色、裏面が銀色で、対生する。5~7月ごろ、黄白色の香りのよい花を総状につける。黄緑色の実は熟すると黒紫色になり、油がされる。 |
| おりうかがう | おりうかがう | 区切られたある時点。機会 |
| オレブ | おれぶ | ギデオンによって打たれたミデアンびとの君オレブ、オレブの岩は彼が処刑された場所 |
| 外套 | がいとう | 防寒などのため、衣服の上に着るゆったりした服。オーバー・マント |
| かいな | かいな | 「うで」の古い言い方。肩からひじまでの部分。 |
| かき | かき | 家や庭の区画を限るために囲いや仕切り |
| 陰 | かげ | 物に遮られて、日光や風雨の当たらない所 |
| 飾り帯 | かざりおび | きれいな装飾を施した帯 |
| 鍛治 | かじ | 鉄などの金属を熱して打ち鍛え、種々の器物をつくること。また、その職人 |
| かしの木 | かしのき | 硬い材質の木 |
| かしわ | かしわ | ブナ科の落葉高木 |
| 被衣 | かずき | 頭からかぶる衣服 |
| かすめどる | かすめどる | うぱいとる |
| 肩掛け | かたかけ | 肩にかける布 |
| 割札 | かつれい | 陰茎包皮を切開、その一部を切り取る風習・儀礼。アブラハムが神と契約を交わした印としてイスラエル人に伝えられた。 |
| 金敷き | かなしき | 鍛造や板金作業をするとき、加熱した材料をのせる鋳鉄または鋳鋼製の台 |
| カナン | かなん | アブラハムに約束された死海周辺の広大な土地 |
| 寡婦 | かふ | 夫に死に別れて再婚しないでいる女性。やもめ。未亡人 |
| 禍福 | かふく | 災難と幸福。不運と幸運 |
| かぶろ | かぶろ | 頭に髪がないこと。はげ頭 |
| かま | かま | 農作業用の道具 |

イザヤ書難解単語表6

| | | |
|----------|---------|--|
| 顔おおい | かみおおい | イスラエルの女性が使用していた顔お覆うための布 |
| 髪ひも | かみひも | 髪につけるひも飾り |
| かもしか | かもしか | 偶蹄(ぐうてい)目ウシ科やギバ科モシカ属の哺乳類の総称 |
| からす(枯らす) | からす | 池の水などがなくなること |
| からまつ | からまつ | マツ科の落葉高木あるいはキンポウゲ科の多年草 |
| ガリラヤ | ガリラヤ | ガリラヤ湖周辺の地域 |
| 仮小屋 | かりごや | 間に合わせにこしらえた小屋。 |
| ガリム | ガリム | ガリムもライシもイスラエル北方の町と思われるがサムエル記上25:44も参照のこと |
| カルケミ | かるけみし | スリヤの上方に位置する国バダン・アラムの都市 |
| カルデア | かるであ | ペルシャ湾の北西に位置する国 |
| カルノ | かるの | アッスリヤによって滅ぼされた古代都市と思われる |
| カルメル | かるめる | ヨルダン川の西、地中海に突き出ている山脈 |
| かわら | かわら | 屋根に敷き、雨風をよけるもの |
| 姦淫 | かんいん | 男女が道義に背いた肉体的の交渉をもつこと。 |
| 宦官 | かんがん | 東洋諸国で宮廷や貴族の後宮に仕えた去勢された官吏 |
| 灌祭 | かんさい | 犠牲を捧げるときに添えられる濃い酒、民数記28参照 |
| かんな | かんな | 木材の表面を削ってなめらかにする大工道具 |
| 貫の木 | かんのき | 門の扉が開かないようにする横木。左右の扉の内側につけた金具に差し通して使う。 |
| 議官 | ぎかん | 政府の高官 |
| 義士 | ぎし | 人間としての正しい道を堅く守り行う男子。義人 |
| 鬼神 | きしん | 化け物 |
| ギベア | ギベア | エルサレムの北に位置する町 |
| ギベオンの谷 | ギベオンのたに | エルサレム北西に位置する場所 |
| 肝をつぶす | きもをつぶす | びっくり仰天する。非常に驚く。 |
| 教訓 | きょうくん | 教えさしすこと。また、その内容・言葉 |
| 強壯 | きょうそう | からだが丈夫で元気なこと |
| 凝乳 | ぎょうにゅう | チーズ |
| 玉座 | ぎょくざ | 王の座る椅子 |
| キル | きる | 死海東のモアブにある町 |

イザヤ書難解単語表7

| | | |
|-------|--------|--|
| キルハセテ | きるはれせて | おそらくはモアブにあった町の名前 |
| キルハレス | きるはれす | おそらくはモアブにあった町の名前 |
| 偶像 | ぐうぞう | 木・石・土・金属などで作った像 |
| 苦役 | くえき | つらい労働 |
| くつわ | くつわ | 手綱(たづな)をつけるため、馬の口にかませる金具 |
| くびき | くびき | 牛馬の頸の後ろにかける横木、自由を束縛するもの |
| くびり殺す | くびりころす | 絞め殺す |
| ケプロ | くぶろ | 現在のキプロス |
| クミン | くみん | セリ科の一年草。種子に強い芳香とほろ苦み、辛みがあり、香辛料としてチーズ・ソーセージ・スープ・シチューなどに用いる。 |
| くるぶし輪 | くるぶしわ | 足のくるぶしにつける飾り |
| クロス | くろす | イザヤが書き留めた主によって啓示された将来起こるバビロンの王の名。このおかげでユダ王国は再建されることになる |
| くわ | くわ | 農作業用の道具 |
| くわの木 | くわのき | ケワ科ケワ属の落葉高木の総称 |
| 薫香 | くんこう | よい香りのする煙、儀式の中で炊かれる香り |
| 契約 | けいやく | 二人以上の当事者の意思表示の合致によって成立する法律行為、約束 |
| ケダル | けだる | ユダ王国周辺、アラビヤ地域にすんでいた民族 |
| ゲバ | げば | おそらくエルサレムの北東に位置した町 |
| ゲビム | げびむ | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| 献身者 | けんしんしゃ | 自らを捧げて何かの目的のために仕える人 |
| 香 | こう | 種々の香料を練り合わせたもの、練り香。また、香木。たきもの |
| 公義 | こうぎ | おおやけに果たすべき義務 |
| 紅玉 | こうぎょく | ルビーのこと |
| 香箱 | こうばこ | 良い香りのするものを入れた箱、香料箱 |
| こうべ | こうべ | あたま |
| 行李 | こうり | 旅行に持っていく荷物。旅のしたく。また、旅。 |
| 肥だめ | こえだめ | 肥料にする糞尿(ふんよう)を腐らすためにためておく所。こやしだめ |

イザヤ書難解単語表8

| | | |
|-------|--------|---|
| 肥えたもの | こえたもの | よく太った動物、あるいはその肉(食用) |
| こがね | こがね | 金、黄金 |
| ゴザン | ござん | アッスリヤによって滅ぼされた古代都市 |
| 腰から出る | こしからでる | その人の子供、子孫として生まれる |
| 腰の帯 | こしのおび | ベルト、衣服がはだけないように結ぶヒモ |
| こび | こび | 人に取り入って、機嫌をとろうとすること。へつらうこと |
| こぶし | こぶし | 5本の手の指を折り曲げて握りしめたもの。にぎりこぶし。げんこつ |
| ゴモラ | ごもら | 罪によって滅ぼされた古代の都市 |
| コンパス | こんぱす | 製図用具の一。主に円を描くためのもので、適当な角度に開閉できる2本の脚からなる |
| 債権者 | さいけんしゃ | お金や法律的にによって他人を拘束する人 |
| 祭司 | さいし | 儀式をつかさどる人々(主にレビ族) |
| 債主 | さいしゆ | 貸主、お金を貸している人 |
| 祭壇 | さいだん | 儀式を執り行う場所 |
| 債務者 | さいむしや | お金や法律的にによって他人を拘束される人 |
| サウル | さうる | イスラエル最初の王 |
| 酒ぶね | さかぶね | 酒を蓄えておく大きな木製の器あるいはぶどうから汁を足で踏んで搾り出すための大きな入れ物 |
| 避け所 | さけどころ | 避難し、逃げる場所 |
| 下げ振り | さげふり | 柱などが垂直かどうかを調べるための道具で、糸の端に真鍮(しんちゅう)の逆円錐形のおもりをつるしたもの |
| さすらい | さすらい | どこというあてもなく、また、定まった目的もなく歩きまわる |
| 悟る | さとる | 物事の眞の意味を知る。はつきりと理解する |
| サファイヤ | さふあいや | コランダムの一、青色透明、また緑・黄色のものもある。濃青色透明なものは宝石にする |
| さふらん | さふらん | サフラン: アヤメ科の多年草。クロッカスの秋咲き種。11月ごろ紫色の6弁花が咲く。赤い花柱は止血剤などに、また香辛料、化粧品の着色剤として使われる |
| サマリヤ | さまりや | イスラエル王国の首都 |
| サルゴン | さるごん | アッスリヤの王 |
| しえたげる | しえたげる | 苦しめる、虐待する、いじめる |
| シオン | しおん | 心の清い者の住む町 |
| しかばね | しかばね | 死んだ人の体 |

のりしろ

のりしろ

イザヤ書難解単語表9

| | | |
|-------|--------|--|
| 敷居 | しきい | 門の内と外との仕切りとして敷く横木 |
| 嗣業 | しそう | 引き継ぐ財産、次世代に渡す所有地等 |
| シケル | しける | 約11グラムの重さ、あるいはお金の単位金銀硬貨一枚 |
| シドン | しどん | フェニキアの都市 |
| シナル | しなる | バビロニヤの昔の地 |
| シバ | しば | 正確な場所はわからないが、アラビア半島の南方の国と思われる。ソロモン王に高価な品物を送ったシバの女王が有名 |
| 柴木 | しばき | 山野に生える小さい雑木の総称。また、それを折って薪や壇とするもの |
| シブマ | しぶま | 死海北東アンモンの地にある都市 |
| 脂肪 | しほう | 捧げるにえの中でも最も価値がある部分 |
| シホル | しほる | エジプト東国境の町 |
| しもべ | しもべ | 雑用に使われる者。召使い。身分の低い者 |
| 笏 | しゃく | 王などが装飾品として手にもつ道具。権威の象徴 |
| シャロン | しゃろん | エルサレム西側の地中海に面する平野 |
| 捕囚 | しゅうじん | とらわれること。とらわれ |
| 祝宴 | しゅくえん | 祝いの宴会 |
| 主君 | しゅくん | 自分の仕えている君。君主 |
| 主權 | しゅけん | 国民および領土を統治する国家の権力 |
| 受膏者 | じゅこうしゃ | 「油注がれた者」の意 |
| 樹脂 | じゆし | 植物、特に針葉樹から分泌される混合物質 |
| しゅろ | しゅろ | ヤシ科の常緑高木。高さは5メートル以上になり、幹は直立し、枝がなく、麻のような毛で覆われる。頂上に群生する葉は長い柄をもち、手のひら状で大きい。 |
| 城郭 | じょうかく | 城の周囲に設けた堀。城壁 |
| 生ずる | しょうずる | 植物などがはえる。新しく何かが起こりたりできたりする |
| 菖蒲 | しょうぶ | アヤメ科アヤメ属の多年草。日当たりのよい乾燥した草地に生える。高さ30~60センチ。アヤメ属には、カキツバタ・シャガなども含まれる。古来、アヤメと呼んだショウブはサトイモ科 |
| 助言者 | じょげんしゃ | 助言を与えることのできる人物 |
| 諸侯 | しょこう | 支配階級の人々 |
| シロアの水 | しらのみず | エルサレムに周辺から流れ込む小さな小川、シロアムの池の水源 |

イザヤ書難解単語表10

| | | |
|--------|---------|---|
| しきがね | しきがね | 銀 |
| しんがり | しんがり | 退却する軍列の最後尾にあって、敵の追撃を防ぐこと。また、その部隊 |
| 深紅 | しんく | 深く深遠な赤い色 |
| 新月 | しんげつ | 月の第一日目(ついたち)、月が見えない状態 |
| 審判 | しんばん | さばき |
| 深慮 | しんりよ | 深く考えをめぐらすこと。深い考え。 |
| 髓 | すい | 動物の骨の中心にある黄色の柔らかい造血組織 |
| 水道 | すいどう | 水の流れる道 |
| すえ | すえ | 子孫、末裔 |
| スエネ | すえね | エゼキエル30:6を参照するならスエネとはエジプトの都市 |
| すき | すき | 農作業用の道具 |
| すずかけ | すずかけ | スズカケノキ科の落葉高木。街路樹に多く用いられ、樹皮は大きくはげて白と淡緑色のまだらになる |
| すたれた | すたれた | 荒れ果てた |
| すね | すね | 膝(ひざ)からくるふしまでの間の部分。はぎ |
| すね飾り | すねかざり | 足のすね部につける飾り |
| スペルト麦 | すべるとむぎ | ライ麦のこと |
| すみか | すみか | 住む場所、家 |
| 隅の石 | すみのいし | 石造り・煉瓦(れんが)造りの壁の出隅部分に積まれる石。本来は補強のために行われる |
| シリヤ | シリヤ | イスラエル王国の上に位置する王国、シリヤとも言う |
| するやいなや | するやいなや | すると同時に |
| 誓願 | せいがん | 神や誓いを立て、物事が成就するように願うこと。 |
| 聖山 | せいざん | 聖なる山 |
| 聖者 | せいじや | 聖なる人 |
| 青銅 | せいどう | 銅と錫(すず)との合金、ブロンズ |
| 生命の書 | せいめいのしょ | 天で書きとめられるという善人の記録 |
| セイル | せいる | 死海南方の国エドムのこと |
| せつに | せつに | 強く思うさま。心から |
| セナケリブ | せなけりぶ | アッスリヤの王 |
| セバ | せば | おそらくエジプト近隣のアフリカの国 |
| セバルワイム | せばるわいむ | アッスリヤによって滅ぼされた古代都市 |

のりしろ

イザヤ書難解単語表11

| | | |
|-------|--------|-----------------------------------|
| セブナ | せぶな | ユダの役人の長、高慢邪悪で神から拒まれていた |
| ゼブルン | せぶるん | 十二支族の一つ |
| セラ | せら | 死海南方エドムの地にある町 |
| セラピム | せらぴむ | セラフ(特別な天使)の複数形 |
| 先見者 | せんけんしゃ | 神の力によって将来起こるべき事柄を見ることでいる人 |
| 戦車 | せんしゃ | 戦闘用の車。兵士が乗り、馬に引かせた |
| ゾアル | ぞある | 死海の南端に位置する都市 |
| ゾアン | ぞあん | エジプトの都市 |
| 装身具 | そうしんぐ | 体を飾るためのもの、きれいな服や宝石 |
| 壯年 | そうねん | 心身ともに成熟して働き盛りの年ごろ。また、その人 |
| そしる | そしる | 他人を悪く言う。非難する |
| ソドム | そどむ | 罪によって滅ぼされた古代の都市 |
| そむける | そむくる | |
| そら | そら | すっかり覚え込んでいて、書いたものなどを見ないで済むこと |
| 胎 | たい | 母体の子が宿るところ。子宮 |
| 胎内 | たいない | 妊娠した母親の子宮の中。胎中 |
| 大能 | たいのう | 大いなる力 |
| たいまつ | たいまつ | 松の樹脂の多い部分を細かく割り、束ねたもの。火をつけて照明に用いた |
| たおやか | たおやか | 態度や性質がしとやかで上品なさま |
| 高い所 | たかいところ | 「高き所」。祭壇のある場所、神に犠牲を捧げる場所 |
| 託宣 | たくせん | 神からの言葉、おつけ |
| たそがれ | たそがれ | 夕方の薄暗い時。夕暮れ |
| 脱穀機 | だっこくき | 稲・麦などを脱穀する農機具 |
| 手綱 | たづな | 馬具の一。轡(くつわ)の左右に結びつけ、人が手に取って馬を操る綱 |
| たなごころ | たなごころ | てのひら。手の裏 |
| ダビデ | だびで | イスラエルを統一した王、キリストの先祖 |
| ダマスコ | だますこ | ガリラヤ湖の北東に離れた場所 |
| 賜る | たまわる | 与えられる |
| タルシシ | たるしし | 現在のスペイン |
| 戯れ | たわむれ | ふざけること。たわむれること |

イザヤ書難解単語表12

| | | |
|--------|----------|---|
| 反 | たん | 土地の面積の単位。1町の10分の1(約10アール)。 |
| 知覚 | ちかく | 感覚器官を通して外界の事物や身体内部の状態を知る働き |
| ちまた | ちまた | 大勢の人が生活している場所、世間 |
| 忠信 | ちゅうしん | まごころをこめ、うそいつわりのないこと |
| 仲保者 | ちゅうほしゃ | 二者の間をとりもつ第三者 |
| 長老 | ちょうろう | 年配で経験豊かな人、町や村の指導者 |
| ちり | ちり | 細かいくずなどが飛び散ったもの。(ほこり)元素 |
| つかさびと | つかさびと | 民を治める人、裁判官 |
| 月形の飾り | つきがたのかぎり | 月の形をしたアクセサリー |
| 縄う | つくろう | 衣服などの破れ損じたところや物の壊れた箇所を直す |
| 鎧 | つち | 物をたたく工具。頭部はふつう円柱形で、柄が付いている。木づち・金づちなどがある |
| つばき | つばき | づば、唾液 |
| つまびらかに | つまびらかに | くわしく、こまかく |
| つむじ風 | つむじかぜ | うずを巻いて吹き上がる風 |
| 連れ合い | つれあい | 行動を共にするもの、夫婦の相手 |
| ツロ | つろ | フェニキアの都市 |
| 手さげ袋 | てさげぶくろ | ハンドバッグ |
| デダン | でだん | アラビヤに位置する国、あるいは都市 |
| デボン | でほん | 死海の東に位置する都市 |
| テマ | てま | アラビヤの町 |
| テラサル | てらさる | アッスリヤによって滅ぼされた古代都市 |
| テレビンの木 | てれびんのき | 櫻の木の一種、とても硬い |
| 天蓋 | てんがい | 神の御座の上の覆い |
| てんびん | てんびん | 支点が中央にあるてこを用いて、物体の質量を分銅と比較測定するばかり |
| 天幕 | てんまく | テント |
| 倒壊 | とうかい | 壊れ倒れること |
| 陶器師 | とうきし | 粘土をこねて焼き、陶器を作る人 |
| 灯心 | とうしん | ランプなどの芯。灯油に浸して火をともすひも状のもの |
| 同盟 | どうめい | 個人・団体または国家などが、互いに共通の目的を達成するために同一の行動をとることを約束すること。また、それによって成立した関係 |

のりしろ

イザヤ書難解単語表 13

イザヤ書難解単語表 14

のりしろ

| | | |
|--------------------|--------|--|
| とが | とが | 罰されるべき行為。罪 |
| 床 | とこ | 室内の板を張った所。ゆか。寝る場所 |
| とこしえ | とこしえ | 永遠 |
| とざす | とざす | 開いている所をしめる |
| トバル | とばる | おそらく黒海周辺にあった国 |
| とび | とび | タカ科の鳥。全長約 60 センチ。全身茶色で、翼の下面に白斑がある。尾は凹形。ビーヒヨロ口と鳴きながら羽ばたかずに輪を描いて飛ぶ |
| とびつどう | とびつどう | 飛び集う |
| ドマ | ドマ | エドム、エドム人を指す |
| どもり | どもり | 発声器官に痙攣(けいれん)が起こり、第 1 音が円滑に出なかつたり、ある音を繰り返したり伸びたりする言語障害 |
| どよめく | どよめく | 音が鳴りひびく。とどろきひびく |
| とりで | とりで | 要所に築く小規模な城 |
| 土ろう | どろう | 土でできた牢屋 |
| ナイル | ないる | エジプトに流れる大きな川 |
| なきがら | なきがら | 死んで魂の抜けてしまったからだ。死体 |
| ナフトリ | なふたり | 十二支族のひとつ |
| なり(どよめく、なり ひびく) | なり | 鳴る、さわぐ、ひびく |
| 成る | なる | 物事ができ上がる。実現する。成就する |
| におい油 | においあぶら | 香料の入った油 |
| ニスロク | にすろく | 偶像崇拜の神 |
| になう | になう | ある物事を支え、推し進める。また、自分の責任として身に引き受ける |
| ニムリム | にむりむ | 死海南東沿岸の川 |
| 乳香 | にゅうこう | カンラン科の常緑高木。また、その樹脂。樹脂は芳香があり、古代エジプト時代からの薫香料。 |
| にわかに | にわかに | 物事が急に起こるさま。突然 |
| 布さらし | ぬのさらし | 布を水や日光にあてて漂白したり、染色後の洗いとする行為 |
| ネゲブ | ねげぶ | 死海南西にある国 |
| ネバヨテ | ねばよて | アラビヤに位置する国、あるいは都市 |
| ネボ | ねぼ | 死海北東に位置するネボ山 |

| | | |
|---------------|-------|-------------------------------------|
| 臨む | のぞむ | 出会う、直面する |
| ノブ | のぶ | エルサレムの城壁のすぐ外にある集落で、神殿の東門を見下ろす位置にある。 |
| 野ぶどう | のぶどう | おいしくない野生のぶどう |
| 背信 | はいしん | 信頼や約束を裏切ること。信義にそむくこと |
| はかり | はかり | 道具を用いて、物の長さ・量・重さなどをはかること、またはその道具 |
| 計りごと | はかりごと | 計画されたできごと |
| 計りなわ | はかりなわ | 長さをはかるための縄 |
| 白墨 | はくあ | 石灰岩の一種。主成分は炭酸カルシウム。白墨の原料とする。チョーク。 |
| はざま | はざま | 物と物との間の狭い所 |
| はしづれ | はしづれ | 木などの端を切り落としたもの。切れ端 |
| バシャン | ばしゃん | イスラエルの近隣の国、ガラリヤ湖の東 |
| 旗 | はた | 遠くから見える目印になるもの |
| 機 | はた | 織物を織る道具 |
| 機織り | はたおり | 機で布を織ること、またはその機械 |
| 旗ざお | はたざお | 旗を掲げる棒、さお |
| バテ | ばて | 約 22 リットルの液体容量 |
| バテロス | ばてろす | エゼキエル 29:14 参照 |
| 鼻輪 | はなわ | 昔のイスラエル女性が鼻の脇につけていた飾り |
| ハネス | はねす | エジプトの都市 |
| バビロン | ばびろん | バビロニア王国の首都、現在のイラクあたり |
| ハマテ | はまて | スリヤの上方にある都市 |
| はらむ(はらめ る) | はらむ | 子をお腹に宿す、妊娠する |
| ハラン | はらん | スリヤの上方に位置する国バダン・アラムの都市 |
| 腫物 | はれもの | はれもの。できもの |
| パロ | ぱろ | エジプトの王の総称、ファラオともいう |
| 万軍 | ばんぐん | 多くの(全ての)軍隊 |
| 燔祭 | はんさい | 神にささげる焼いて行ういけにえ |
| 万象 | ばんじょう | さまざまの形、形あるすべてのもの |
| はんだづけ | はんだづけ | はんだで金属を接合すること。また、その接合したもの |
| 縛 | ひ | 赤い色 |

イザヤ書難解単語表 15

イザヤ書難解単語表 16

のりしろ

| | | |
|---------|---------|---|
| 火打石 | ひうちいし | 玉髓に似た石英の一種。緻密(ちみつ)で硬く、灰色や黒色のものが多いため。火打ち金と打ち合わせて発火させ、火打ち道具として用いた。 |
| ヒゼキヤ | ひぜきや | ユダの第 13 代の王、神に使えた善王 |
| 日時計 | ひどけい | 時刻の目盛りをつけた平板上に指針を固定し、太陽の光を受けてできる指針の影の位置によって時刻を知るもの |
| ひねもす | ひねもす | 一日中 |
| 火の舌 | ひのした | 火がまるで食べ物を取り込むようにとどろき燃えつくしていく様子 |
| ヒビビト | ひびびと | イスラエルが来る前にカナンに住んでいた民族。不信教と異教の神を崇拜していた。 |
| ひょう | ひょう | 主に積乱雲から降る直径 5 ミリ以上の氷の粒または塊 |
| 不義 | ふぎ | 正しくない行い |
| 服役 | ふくえき | 監獄に拘置されること |
| 不信 | ふしん | 不信仰(?) |
| ブト | ぶと | おそらく現在のリビア? ブテとも書いてある |
| ふところ | ふところ | 衣服を着たときの、胸のあたりの内側の部分 |
| 船綱 | ふなづな | 船をとめる綱 |
| ぶよ | ぶよ | 双翅(そうし)目ブユ科の昆虫の総称。体は小形で短く、頭部に大きい複眼をもつ。刺されると、痛みが激しく、はれる。幼虫は水中にすむ。ぶと。ぶよ |
| ふるい | ふるい | 円形・方形の枠の下に、網を張った道具。粒状のものを入れて振って、網目を通して細かいものをりかかる |
| ぶんどり品 | ぶんどりひん | 戦利品としてうばった物 |
| ベエル・エリム | べえる・えりむ | モアブ内あるいはその周辺にあった町 |
| ベガ | べが | イスラエル王国 19 代目の王 |
| ヘシボン | へしほん | アンモンにありネボ山の北側に位置する都市 |
| ベヒルキヤ | べひるきや | ユダ王国の祭司、エリヤキムの父 |
| ベラジム山 | べらじむやま | おそらくダビデがベリンテビとを打ち破った場所。サムエル記下 5:20 参照 |
| ペリシテ人 | ペりしてびと | 古代パレスチナの民族。前 13~前 12 世紀ごろパレスチナに侵入し建国。鉄器をもち好戦的でイスラエル民族を圧迫した。 |

| | | |
|--------|--------|--|
| ベル | べる | ユダ王国内にあった山(?) |
| 宝玉 | ほうぎょく | 貴重な玉。宝石。宝珠 |
| 暴君 | ぼうくん | 人民を苦しめる暴虐な君主 |
| 芳香 | ほうこう | 良い香り |
| 報復 | ほうふく | 仕返しをすること |
| 謀略 | ぼうりやく | 人をあざむくようなはかりごと |
| 亡靈 | ぼうれい | なくなった人々の靈、死者の魂 |
| ボズラ | ぼずら | エドム近隣の国あるいは都市 |
| 帆柱 | ほばしら | 船の帆を張る柱 |
| ほふり場 | ほふりば | 牛や羊をほふる場所 |
| ほふる | ほふる | ころす、切り裂く |
| 誉 | ほまれ | 誇りとするに足る事柄。また、よいという評判を得ること。名譽 |
| ホメル | ほめる | 約 220 リットルの容量 |
| 捕虜 | ほりよ | 戦争などで敵に捕えられた人。とりこ |
| ホロナイト | ほろないむ | 死海南東の町 |
| まいない | まいない | 駄駄路(わいいろ) |
| まがき | まがき | 粗末につくった垣根(かきね) |
| 牧草 | まきぐさ | 家畜に食べさせる草 |
| 巻物 | まきもの | 文字を書いた長い紙を巻いたもの |
| まぐさおけ | まぐさおけ | 馬のえさの干し草をいれる桶(おけ) |
| 幕屋 | まくや | 幕を張りめぐらした小屋 |
| まぐわ | まぐわ | 牛や馬にひかせて水田の土をかきならす農具。長さ 1 メートルほどの横の柄に、刃を櫛(くし)状に取り付けたもの |
| まじない師 | まじないし | 不可思議なものの威力を借りて、災いや病気などを起こしたり、また除いたりする術を持つ者 |
| 枀 | ます | 液体や穀物などの分量をはかる容器 |
| またたくまに | またたくまに | まばたくほどのごく短い間。瞬時。瞬間 |
| まつりごと | まつりごと | 国を治める仕事、政治 |
| マデメナ | までめな | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| まどろむ | まどろむ | 眠くてうとうとする |
| マナセ | まなせ | ヨセフの子、十二支族に数えられる |

イザヤ書難解単語表 17

| | | |
|---------|---------|---|
| 守り袋 | まもりぶくろ | 守りを入れて身につけておく袋。おまもり |
| ミクマシ | みくまし | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| みくら | みくら | 神の座られる場所 |
| ミグロン | みぐろん | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| ミデアン | みであん | 紅海の北側に位置する土地 |
| みどりご | みどりご | 生まれたばかりの子供、あるいは3歳ぐらいまでの幼児 |
| みなしご | みなしご | 親のいない子供 |
| 見張りびと | みはりびと | 敵の攻撃に備えて城壁などから見張る人 |
| 耳しい | みみしい | 耳の聞こえない人 |
| 耳輪 | みみわ | 耳につけるかざり、イヤリング類 |
| ミルトス | みるとす | フトモモ科の植物、ギンバイカとも言う。ミルトスは生命力が強く、切られても長生きすることから不死の象徴となった。ユダヤ教の中では仮庵の祭り、結婚式などにも用いられる。 |
| むなし | むなし | 空虚である。内容がない。無益である。むだである |
| 目しい | めしいい | 目の見えない人 |
| メデア | めであ | カスピ海の南に位置する国 |
| メデバ | めでは | 死海北東の都市 |
| めのう | めのう | 石英の結晶の集合体(玉髓(ぎょくすい))で、色や透明度の違いにより層状の縞模様をもつもの。色は乳白・灰・赤褐色など変化に富む。宝石・装飾品とされ、また硬質なので乳鉢にも使われる。 |
| メロダグ・バラ | めろだぐ・ばら | バビロンの王 |
| ダン | だん | |
| メンビス | めんびす | エジプトの都市、メンフィス |
| モアブ | もあぶ | 死海南東、エドムの上方にある国 |
| 猛禽 | もうきん | 肉食性の大型の鳥類、例:ワシ、タカ |
| もうける | もうける | こしらえる、作る、設置する |
| もぐらもち | もぐらもち | もぐらの別名 |
| もだせ | もだせ | もだす(黙す)口をつぐみ黙ること |
| もと | もと | 物の下の部分。また、そのあたり。した |
| もみがら | もみがら | 麦や米の外皮、中身をとった後の皮 |
| モレク | もれく | 偶像崇拜の神 |

イザヤ書難解単語表 18

| | | |
|--------|--------|---|
| もろもろ | もろもろ | 多くのもの。さまざまのもの |
| やかた | やかた | 地位・身分ある人の住む屋敷 |
| 焼き印 | やきいん | 火で熱して物に押し当てて焼き跡をつけるための金属性の印。また、それで押したるし |
| 夜具 | やぐ | 夜、寝るときに用いる布団・毛布などの総称。寝具 |
| やぐら | やぐら | 城門や城壁の上につくった一段高い建物。敵状の偵察や射撃のための高櫓 |
| ヤコブ | やこぶ | イスラエル12支族の親、イサクの息子 |
| ヤゼル | やぜる | 死海北北東にある都市 |
| ヤハズ | やはず | 場所は不明だがモアブ周辺と思われる。もしかするとネボ山の近くにあるエハズのことかも |
| やまあらし | やまあらし | 齧歯(げっし)目ヤマアラシ科の哺乳類の総称。頭胴長35~90センチ、尾長17~23センチ。体の上面に針状の中空の剛毛が生えている。 |
| ヤワン | やわん | ギリシアを指すと思われる |
| 遊女 | ゆうじょ | 酒宴などで男性の世話をする女または売春婦 |
| ユダ | ゆだ | ユダ(南)王国BC587バビロニアによって崩壊 |
| ユフラテ川 | ゆふらてがわ | 主としてイラクを貫流する河川。 |
| 酔いどれ | よいどれ | ひどく酒に酔った人。よっぽらい |
| 養父 | ようふ | 養子先の父 |
| よこしま | よこしま | 正しくないこと。道にはずれていること |
| よし | よし | 植物アシの別名 |
| ヨタム | よたむ | ユダ王国11代目の王 |
| 夜回り | よまわり | 夜中、警備や防火のために町を見回る人 |
| 陰府(黄泉) | よみ | 死者の国、地獄 |
| 夜もすがら | よもすがら | 一晩中 |
| ヨルダン | よるだん | ヨルダン川 |
| よろず | よろず | すべてのこと。万事 |
| よろめく | よろめく | 足どりが確かでなく倒れそうになる。よろける |
| ライシ | らいし | イスラエル北部、ヨルダン川の水源に位置する町 |
| ラキシ | らきし | ユダ王国南方の要塞都市 |
| 落胆 | らくたん | 期待や希望どおりにならずがっかりすること |
| 驃馬 | らば | 雄ロバと雌ウマとの交配による一代雑種 |

イザヤ書難解単語表 19

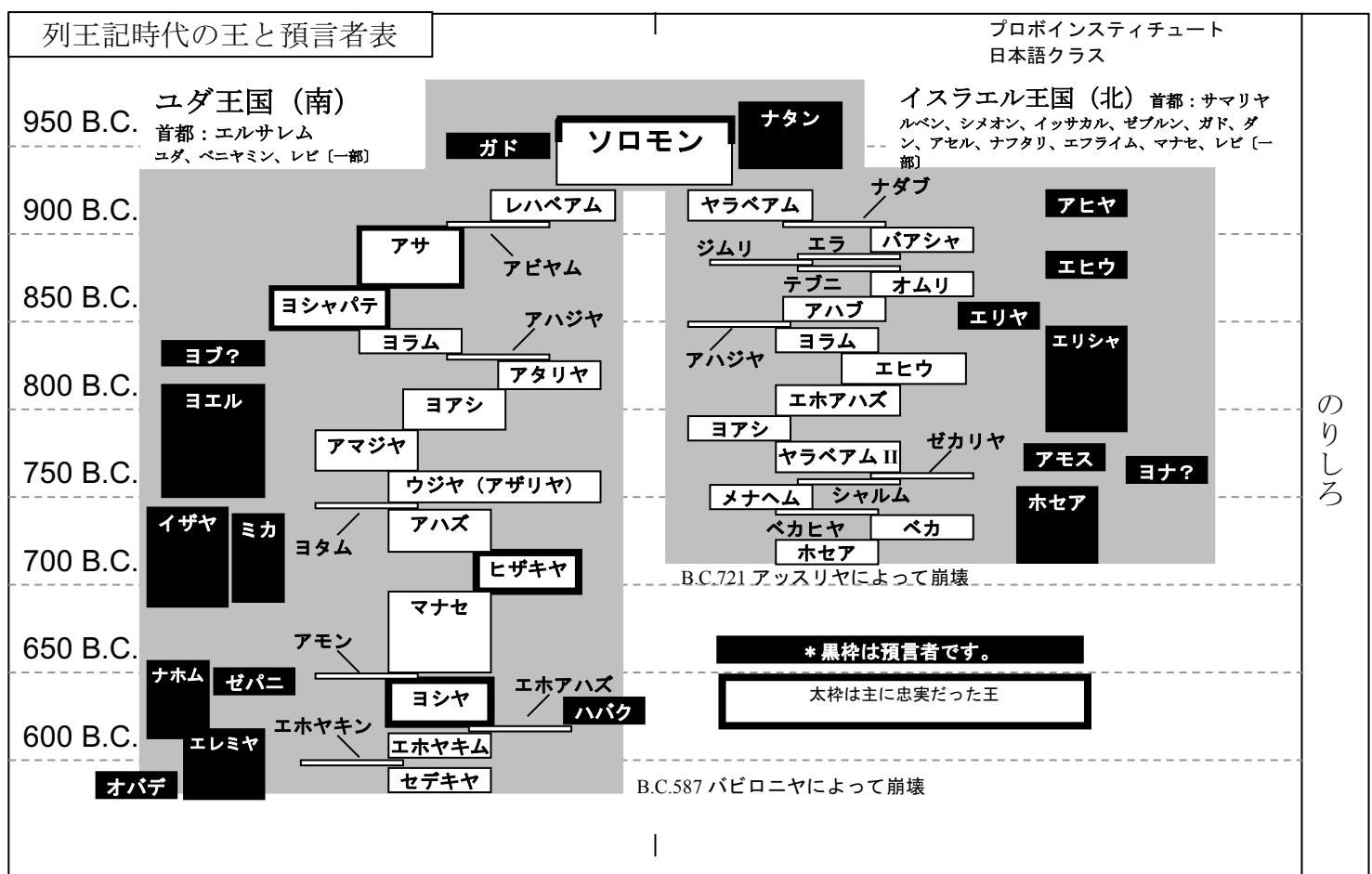
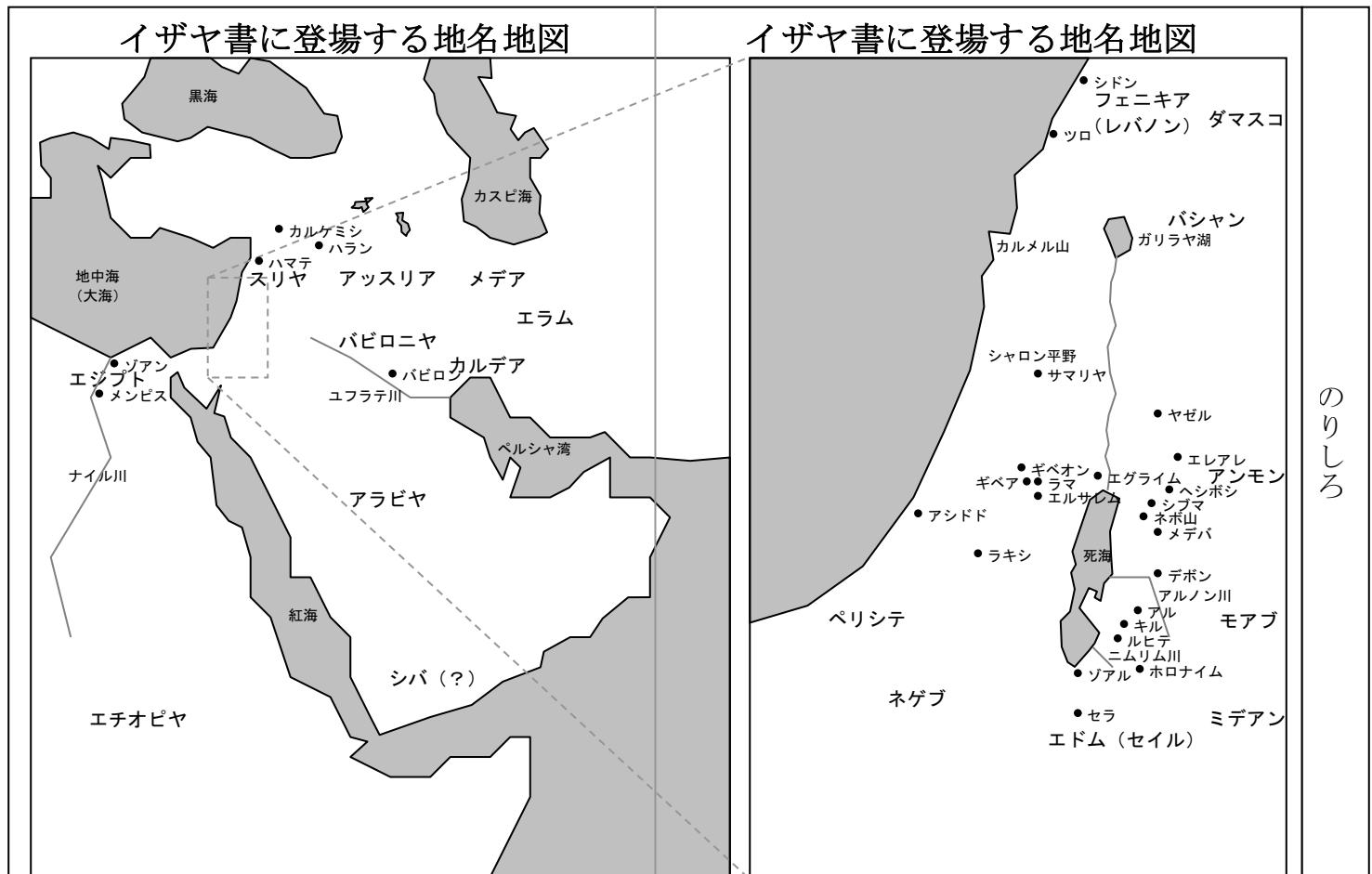
| | | |
|---------|---------------|---|
| ラハブ | らはぶ | 恐ろしい怪物。イスラエルを助けた遊女ラハブとは別。 |
| ラブシャケ | らぶしゃけ | アッスリヤの王の使い。エルサレムの包囲を任せていた。 |
| ラマ | らま | エルサレムから北へ10キロの都市 |
| 離縁状 | りえんじょう | 夫が妻を離縁するときにその旨を記して渡す書状 |
| リンモン | りんもん | おそらくイスラエル北部の町、アッスリヤがエルサレムを攻めるときに通過すると思われる |
| 墨 | るい | 土を積み重ねてつくった構築物。とりで |
| ルデ | るで | 前後の文章からすると現在のヨーロッパあたりに位置した古代国家と思われる |
| ルヒテ | るひて | 死海南東東、モアブにある都市 |
| 礼服 | れいふく | 儀式や特別な機会に着る服 |
| 靈妙 | れいみょう | 人知ではばかり知れないほどに、奥深くすぐれていること |
| 黎明 | れいめい | 夜明け明け方 |
| レゼフ | れぜふ | アッスリヤによって滅ぼされた古代都市 |
| レヂン | れぢん | スリヤの王 |
| レバノン | ればのん | フェニキアの国、イスラエル王国に隣接し、地中海側に存在した国 |
| レバノンの香柏 | ればのんのこ うはく | レバノン国で産出された当時有名な良い香りのする高級木材 |
| レビビト | れびびと | 十二支族の一つ、土地をもたず祭司の職をつかさどる |
| レビヤタン | れびやたん | ヘビ、サタンの意 |
| レマリヤ | れまりや | イスラエル王国の王ベガの父 |
| 老練 | ろうれん | 多く経験を積んで、物事に慣れ、巧みであること |
| わざ | わざ | おこない。行為。所業。しわざ |
| 煩わす | わづらわす | 心配させる、悩ませる |
| 渡し | わたし | 人や貨物を舟で向こう岸に渡すこと。また、その舟や、舟の着く場所。 |
| わらべ | わらべ | こども |

イザヤ書難解単語表

(メモ欄)

のりしろ

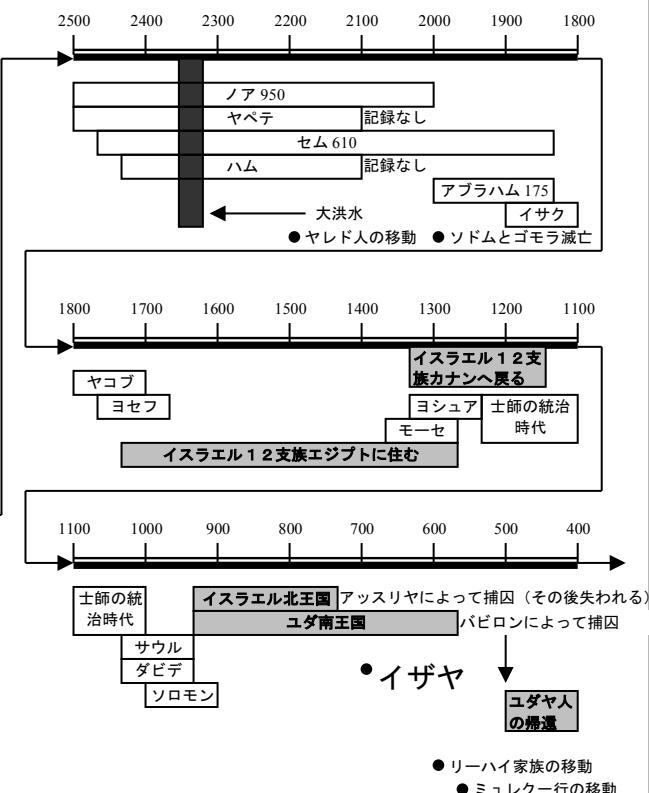
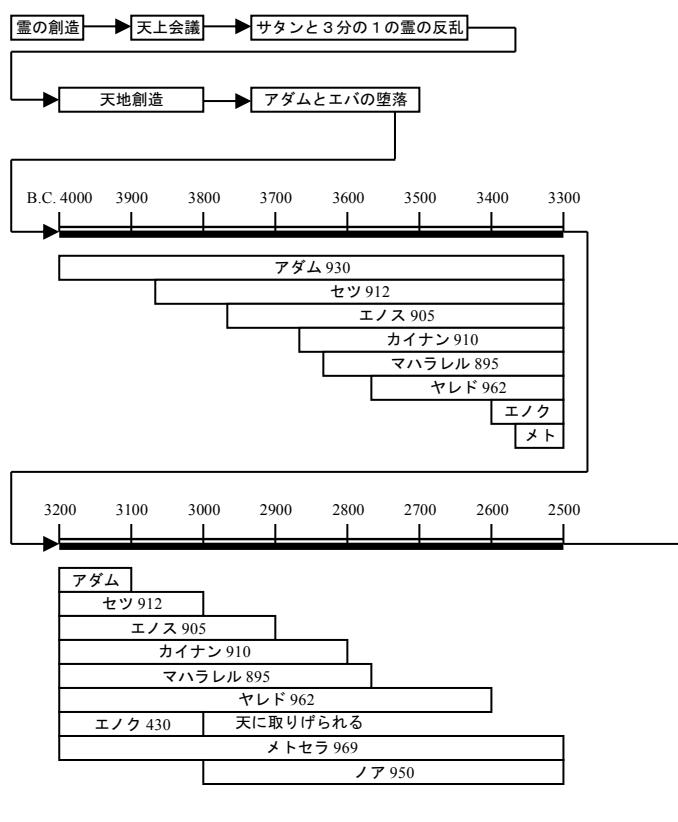
のりしろ



福音年表1

福音年表2

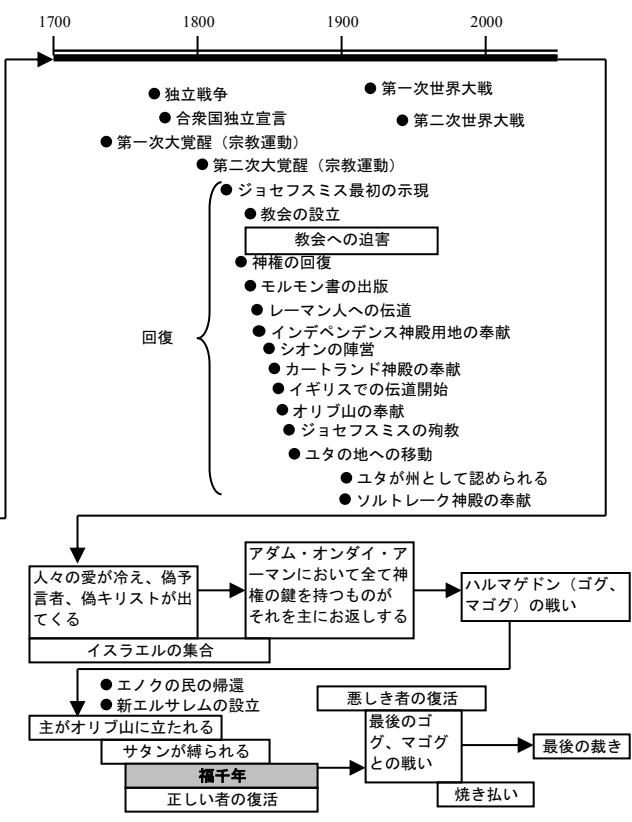
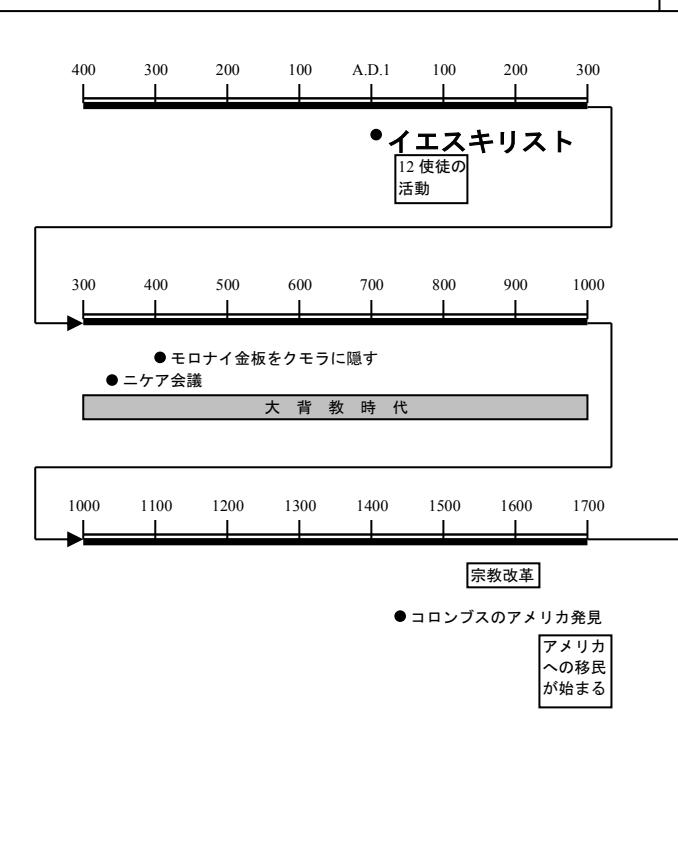
のりしろ



福音年表3

福音年表4

のりしろ



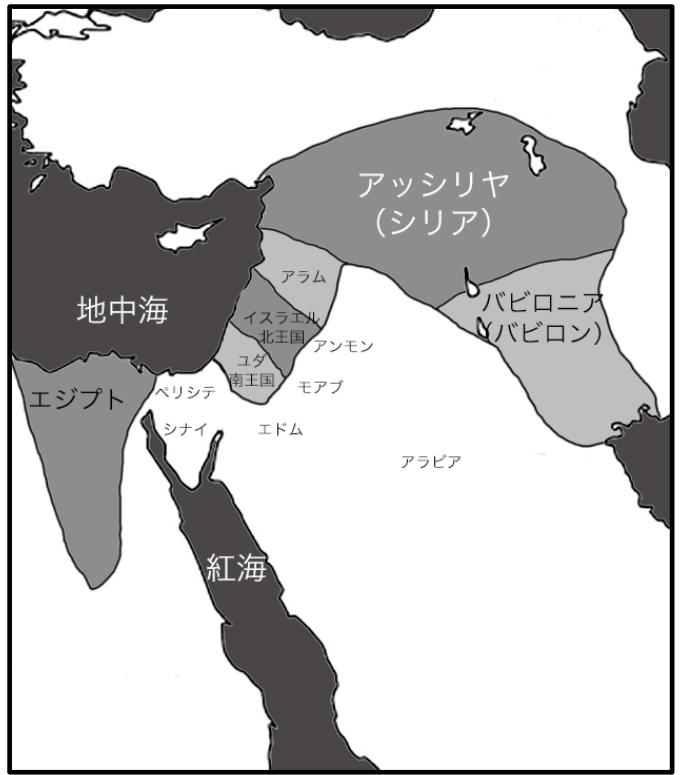
| ヘブライ文法について1 | ヘブライ文法について2 | |
|---|---|------|
| <p>ヘブライ文法には独特な表現方法があります。この表現方法を理解することはイザヤ書を読み解く上で非常に効果があります。最も注目すべき表現法は並行法（パラレリズム）、比喩的表現方法、それと両義性（多元性）です。</p> <h3>平行法（パラレリズム）</h3> <p>古代イスラエルではパピルスや巻物を読むことは一般的でなく、伝承者の口伝によって記録が伝えられていました。そのなかで、覚えやすく伝えやすい並行法（繰り返し）というのが生まれてきました。その部分自体が大切な意味を伝えたり、前後の文章の強調点となったりします。ここにあげるものはあくまでも基本であって、実際にはいろいろな使い方が存在し、沢山使われています。現代で言えば歌のさび（リフレイン）のような感じと考えてください</p> <p>-7つの平行法の基本的使用方法－ (BYU ルドロー著「イザヤ：預言者、先見者、そして詩人」より抜粋)</p> <h4>同義語による繰り返し（同義平行法）</h4> <p>最初の行で言われた同等に意味を別の言葉で繰り返します。</p> <p>例)</p> <p>A) 牛はその飼い主を知り、 B) ろばはその主人のまぐさおけを知る。 (イザヤ 1:3)</p> <h4>反語による繰り返し（反語並行法）</h4> <p>二つの文章が全く反対の意味を繰り返します。</p> <p>例)</p> <p>A) もし、あなたが快く従うなら、地の良き物を食べることができます。 B) しかし、あなたがたが拒みそむくならば、つるぎで滅ぼされる。 (イザヤ 1:19-20)</p> | <p>象徴による繰り返し（象徴並行法） 象徴を使って意味を繰り返します。</p> <p>例)</p> <p>A) たといあなたがたの罪は紺のようであっても、雪のように白くなるのだ。 B) 紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。 (イザヤ 1:18)</p> <h4>組み合わせによる繰り返し（総合並行法）</h4> <p>第2文が来ることで第1文の意味を完成させます。</p> <p>例)</p> <p>A) わたしは子を養い育てた、 B) しかし彼らはわたしにそむいた。 (イザヤ 1:2)</p> <h4>意味の合成による繰り返し（合成並行法）</h4> <p>同じ意味の言葉を繰り返して強調します。</p> <p>例)</p> <p>A) ああ、罪深い国ひと、 B) 不義を負う民、 C) 悪をなす者のすえ、 D) 堕落せる子らよ。 (イザヤ 1:4)</p> <h4>意味の盛り上げによる繰り返し（クライマックス並行法）</h4> <p>意味を重ねる繰り返しで内容を盛り上げていきます。</p> <p>例)</p> <p>A) あなたがたの国は荒れすたれ、 B) 町々は火で焼かれ、 C) 田畠のものはあなたがたの前で外国人に食われ、 (イザヤ 1:7) ※盛り上がりによって次に来るものを強調します</p> | のりしろ |

| ヘブライ文法について3 | ヘブライ文法について4 | |
|--|---|------|
| <p>文章をひっくり返す繰り返し（カイアズマス） 使われた文章を逆の順番で繰り返します。この形がギリシア語の「X（カイ）」に似ていることから名づけられました。非常に洗練された文法で、特に靈感によって与えられた予言詩に見られます。</p> <p>例)</p> <p>A) あなたはこの民の心を鈍くし、 B) その耳を聞こえにくくし、 C) その目を閉ざしなさい。 C') これは彼らがその目で見、 B') その耳で聞き、 A') その心で悟り、 悔い改めていやされることのないためである。 (イザヤ 6:10) ※必ずしも繰り返し部分が近くにあるとは限りません。</p> <h3>比喩的表現方法</h3> <p>キリストは地上で教えられた時、たとえを沢山用いられました。その中にはぶどうの木、麦、羊、油、光、道、いろいろなものがありました。これらのものは当時のイスラエル人にはとても身近なものであってわかりやすく、理解を深めるにとても役立つものでした。また、主は別の目的でもたとえを使われました。それは予言の御靈によって導かれた人にだけ分かる大切な教えでした。</p> <p>それから、弟子たちがイエスに近寄ってきて言った、「なぜ、彼らに譬でお話しになるのですか？」そこでイエスは答えて言われた、「あなたがたには、天国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていない。・・・だから、彼らには譬で語るのである。それは彼らが、見ても見ず、聞いても聞かず、また悟らないからである。</p> <p>こうしてイザヤの言った預言が、彼らの上に成就したのである。『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟らない。見るには見る</p> | <p>が、決して認めない。この民の心は鈍くなり、その耳は聞えにくく、その目は閉じている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞かず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである』。 (マタイ 13:10-15)</p> <p>イザヤ書には沢山の比喩的表現が使われています。一つには分かりやすいように。そしてもう一つには熱心に求める者にだけ理解できるように書かれているのです。</p> <p>したがって、聞きなさい。・・・イザヤの言葉はあなたがたには分かりにくいが、予言の御靈に満たされている人々には分かりやすい。・・・それゆえ、イザヤの言葉は人の子らにとって価値がある。 (ニーファイ第二 25:4-8)</p> <p>イザヤに登場する場所や、物の名前の意味を知ることはイザヤ書を理解する上でとても役に立ちます。</p> <h3>両義性（多元性）</h3> <p>イザヤは末日の私達までも見通して予言をしました。その予言の言葉には同じ文章に対していろいろな意味が重ねてあります。たとえば「集合」に関しての予言はユダ族のバビロンからの帰還を意味していれば、末日のイスラエルの集合も意味します。このように同じ文章でありながら隠された意味をいくつも見つけることができるところを両義性あるいは多元性といいます。これこそが完全なイザヤ書の解説書や口語訳を作ることができない大きな理由の一つなのです。その中にはあなた自身に与えられている神様のメッセージも隠されていることを忘れてはいけません。</p>  | のりしろ |

イザヤ書早見表とモルモン書との対比

| | | |
|----------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 1 形式だけの心無い行動に対する警告 | | 34. 主に向かって嘲った者たちの地のなればて |
| 2 主の山へ。⑥主の日、人に嘲ることをやめよ。 | II Ne 12. 35 シオン | |
| 3 支えが取り除かれた後の滅滅、彼らの節り物 | II Ne 13. 36 セナケリブの人復讐、ヒセキヤ王 | |
| 4 七人の女と一人の男。②オランの建立 | II Ne 14. 37 ヒセキヤの折り | |
| 5 ぶどう畠の歌。④ヨルハの向かって遠くから来る | II Ne 15. 38 ヒセキヤの歌、時が戻る | |
| 6 イザヤの福音者としての召しと民の酒など心 | II Ne 16. 39 ヒセキヤが祭りせる | |
| 7 不信心なアバエ王としてのインマヌエル | II Ne 17. 40 呼ばれる者の事がする。人は草だ | |
| 8 インマヌエルの名とそれにつまづく人たち | II Ne 18. 41 私はあなたと共にいる | |
| 9 民の光のひとりのみどりさせぞそれに抵拒する者たち | II Ne 19. 42 私は新しいことを告げよう | |
| 10 アッスリヤの軍事とそれを滅ぼす主の光 | II Ne 20. 43 新しいことが始まる | |
| 11 エーサイの恨は民の滅び、集合と主の統治 | II Ne 21. 44 像似に頗る者よ、私の他には神はない。クロス王 | |
| 12 舟ひの歌、救いの舟 | II Ne 22. 45 クロス王、あなたが私を知らなくても | |
| 13 高い山に掲げられる旗そして主の日が来る | II Ne 23. 46 私はあなたに年老いるまで貞い | |
| 14 サタンの最後 | II Ne 24. 47 罪人が死んでる時 | |
| 15 モアブは一度にして滅ぶ | II Ne 20. 48 不羨しい者よ、私を知れ | |
| 16 モアブの滅び(略) | II Ne 21. 49 誰が立つ、主は私たちを忘れておられなかった | |
| 17 ダマスコの滅び | II Ne 7. 50 主が私を知らざる者 | |
| 18 寶島の國に住む良い民、山上に立つ旗 | 51 シヨンよ、さめよさめよ力を着よ | |
| 19 大國エジプトからイスラエルの聖者の前には | 52 シヨンよ、さめよさめよ力を着よ | |
| 20 脊椎のイザヤ、エシプロの崩壊 | 53 イエス・キリスト | |
| 21 海の荒野の花言、ハビロンの滅び | Mosiah 14. | |
| 22 幻の谷エルサレムへの託宣、不義で代わる聖なる者 | 54. 主の祝福 | |
| 23 リロは70年忘かれられ、そして思い出される | 55 我が思いがあなたの思いよりも高く | |
| 24 滅びの日に防ぐる災 | 56 神殿で与えられる物 | |
| 25 主は死を滅ぼし、運を拭われる | 57 邪な者 | |
| 26 あなたの死を滅ぼす | 58 私が運ぶところの断食は | |
| 27 主と争わないで祈禱をうけよ | 59 主の手が私のではない | |
| 28 大智教と一の詔みを感た石 | 60 光を放て | |
| 29 溝い地の中から出てくる声 | 61 義のかいの大 | |
| 30 主の言葉にそむくる子ら | 62 私はエルサレムのために休まない | |
| 31 主の怒りの日の前に主に懼れ | 63 エドムからくる真紅の衣の者/15汚されたのですか? | |
| 32 聖者の熱治 | 64 忘れられた者2 | |
| 33 その中に立つシオン | 65 私はここにいる/アシオン・福千年 | |
| 66 主の日 | 66 主はここにいる/アシオン・福千年 | |

イザヤ時代の対立する国々の位置



国々は常に対立していたわけではなく、時には協力や同盟を組んだりしていました。またバビロンのように途中でアッシリアに代わって勢力を誇るようになる時代もありました。イザヤの生涯の中でも世界はどんどん代わって行ったのです。位置関係がわかるとイザヤの話が読みやすくなります

イザヤ書が難解な理由

イザヤ書が他の聖典と比べてはるかに難しいには特別な理由があります。聖書の失われた部分をカバーする目的のはずのモルモン書に約30パーセントのイザヤ書がほぼ同じ言葉で重複して記載されていること自体がその重要性を表しています。

まず最初に理解すべきことは全ての人が同じ理解をする必要がないということです。ですから必ず到達しなければいけない地点というものがあるとするならばそれは全ての人によって異なります。逆に言えば全ての人がその与えられた範囲の中で理解できるようになります。

イザヤにはこの地上に生きてきた他のどの人にもない特別な才能が与えられました。ですからイエス様さえ名指しでイザヤ書を読むように私たちに命じられたのです。その才能とは彼の時代の周りで起きた出来事の単純な描写の中に聖典には収まりきらない神様の救いの計画を織り込んでいくことでした。この救いの計画とは私たちが宣教師から学ぶような基礎から始まり、やがて神様がどれほど私たちを愛しておられ複雑かつはるかに偉大な計画を準備されたのかを知ることができる「救いの計画」のことです。これを学び切るには終わりがありません。ですからイザヤは私たちの知識のレベルが変わることに聖書を通してより偉大な知識が得られるように特殊な方法で文字を残したのです。イザヤ書を一言で言うなら「救いの計画の計画書」なのかもしれません。さらに重要なのはその偉大な計画の中に私たち自分自身を見つけることができると言う不思議です。ですからニーファイは「自分自身と全ての人に当てはめてみるとがよい」と書いたのです。

イザヤの才能は敵の手によってもほとんど崩されることはありませんでした。ですから聖書の「貴くてわかりやすい部分」がほとんど抜き取られ、書き換えられても「貴くてわかりにくい部分」であるイザヤ書はほぼそのままの形で末日まで残りました。それは末日に来る当事者である私たちが主の来臨お迎えするための準備ができるように心を強くし、神の計画の理解を深めるためです。聖見者であるジョセフスミスを通して与えられた数々の鍵を使うことによって私たちはイザヤ書を理解できると言う特別な恩恵を受け、今特別な時代に生きています。

イザヤ書は必ず読めるようになります。イザヤ書を読み、他の聖典を学ぶ。このステップを繰り返し、聖書からの助けを求め続けるとある日突然、イザヤの言葉と他の聖典の意味が繋がり最初の扉が開きます。

イザヤ書を理解するために

イザヤ書初心者にとってはどこから入ればよいのかで迷ってしまうでしょう。まずは読み慣れることが重要ですが、それだけでは飽きてしまいます。初心者に簡単な入門ステップをご紹介します。

ステップ1) 数節を短く読み、自分が喜怒哀楽のうちどれを感じたかを考えます。最初は間違っていても大丈夫です。ただ書いてある文字でどんな気持ちになるかを感じる訓練をします。

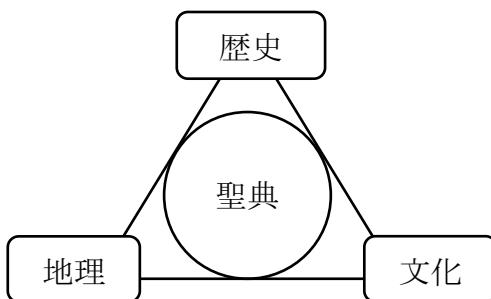
ステップ2) 読んだ部分に並行法（パラレリズム）が見つかるか探してみます。もし見つかればその中、あるいは近くに重要な文章が隠れているかもしれないで探します。

ステップ3) 読んだ中に自分の知らない言葉や名前などがあるかどうかを探します。もしあればラッキーです。すぐにその意味を調べれば急に文章全体の意味が通ります。

この3つのステップを繰り返すと次第にイザヤ書が読みやすくなっています。是非お試しください。

イザヤ書の理解の鍵

下の4つはとても深く繋がっています。それぞれを研究し学んでいくとどんどん繋がってイザヤ書が理解しやすくなります。



| | |
|--|---|
| <p>イザヤ書 関連聖句 1</p> <p>さて、わたしはイザヤの言葉を少し書き記して、私の民の中でこれらの言葉を見る者が心を高めて、すべての人のために喜べるようにしよう。さあ、その言葉は次の通りである。あなたがたはこれを、<u>自分自身とすべての人に当てはめてみるがよい。</u> (ニーファイ第二書 11:8)</p> <p>ところで、わたしひニーファイは、イザヤの口を通して語られた御葉をこれまで書き記してきたが、今これらについて少し話をしよう。見よ、イザヤが語った多くの事柄は、わたしの民の多くの者にとって理解しにくいものである。それは、彼らがユダヤ人の予言の仕方を知らないからである。・・・したがって、聞きなさい。・・・イザヤの言葉はあなたがたには分かりにくいが、予言の御靈に満たされている人々には分かりやすい。・・・それゆえ、イザヤの言葉は人の子らにとって価値がある。 (ニーファイ第二書 25:1-8)</p> <p>あなたがたが覚えているように、わたしはあなたがたに、イザヤの言葉が成就するときのことを語った。見よ、イザヤの言葉は書き記されてあなたがたの前にあるので、<u>それを調べなさい</u>。まことにあなたがたに言う。イザヤの言葉が成就るのは、父が御自分の民、イスラエルの家に立てられた聖約が果たされるときである。 (ニーファイ第三書 20:11-12)</p> <p>さて見よ、私はあなたがたに言う。あなたがたはこれらのこと<u>を調べなさい</u>。まことにわたしは、これらのこと<u>を熱心に調べるために</u>という戒めを、あなたがたに与える。 イザヤの言葉はまことに偉大だからである。 (ニーファイ第三書 23:1)</p> | <p>イザヤ書 関連聖句 2</p> <p>イザヤの予言を調べなさい。見よ、私はそれを書き記すことはできないが、まことに見よ、あなたがたに言っておく。この地を所有していて、わたしなりも前に世を去った聖徒たちは叫ぶ。まことに、彼らは地から主に叫ぶ。そして、主が生きておられるように確かに、主は彼らと交わした聖約を思い出されるであろう。 (モルモン 8:23)</p> <p>イザヤ書の順序について</p> <p>イザヤ書は時間の流れの通りの順序にはなっていません。その構造はまるでパズルのように時間の流れを行ったり来たりしますので、初めて読む場合にはかなり混乱すると思います。例えばイザヤ書 6 章は彼の預言者としての召しについての話ですから本来なら一番最初に来るべき部分になります。この時間の流れに惑わされないように多元性のことも含めて読み進めていくが重要な鍵とも言えます。</p> <p>イザヤ書の副作用</p> <p>イザヤ書を読み進めて行き、ある程度読めて来るようになると不思議な副作用が出てきます。他の聖典が面白いように今までと違う感覚で理解できるようになります。これはイザヤ書を読み解くために必要な聖霊の助けを受ける力と聖句と福音を結びつけていく力が身につくためです。例えば普通の聖典を 1-10kg の重さのバーベルと例えるならヨハネの黙示録はだいたい 30kg。イザヤ書は 100kg です。毎日 10kg のバーベルを持ち上げても絶対に 100kg を持ち上げるようにはなりませんが、100kg を持ち上げる練習をし続けてなんとか持ち上げられるようになると 10kg のバーベルは驚くほど簡単に持ち上がるようになります。</p> <p>それからもう一つの副作用は私たち個人に与えられた祝福師の祝福の意味がもっと理解できるようになるということです。祝福師の祝福もいわば聖典の一つですからより理解がしやすくなっています。</p> |
|--|---|

| | |
|--|---|
| <p>イザヤ書 データ</p> <p>イザヤ書： 全 66 章 合計 1292 節</p> <p>モルモン書で引用された節： 414 節 (32%)</p> <p>モルモン書で言い換え引用された節： 34 節 (3%)</p> <p>新約聖書での引用： 57 回</p> <p>教義と聖約での引用、および言い換え： およそ 100 節所</p> <p>イザヤ 11 章、52 章の説明 → 教義と聖約 113 章 イザヤ 65 章のヒント → 教義と聖約 101 章 イザヤ 35 章、51 章、63 章、64 章のヒント → 教義と聖約 133 章</p> <p>イザヤの名前の意味： 「エホバの救い」</p> <p>ユダヤの言い伝えによればイザヤはユダ王家との血縁関係があり、4代の王、ウジヤ、ヨタム、アハズ、そしてヒゼキヤの時代に予言を記録し続けた。また、言い伝えによると、イザヤはヒゼキヤの息子、悪王マナセによって木の幹の内部に埋め込まれたまま、のこぎりで切られて殉教したと言われている。</p> <p>イザヤ書の大まかな内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-35 章： さばきに関する予言 36-39 章： 歴史上の出来事、ヒゼキヤ王の記録 40-66 章： あがないの約束 <p>イザヤ書を理解するために</p> <p>イザヤ書を心から理解したいと願い、祈り求め、勉強し、努力すること。「求めよ、さらば与えられん。たたけ、さらば開かれん」</p> | <p>イザヤ書の謎</p> <p>イザヤ書の謎</p> <p>イザヤ書には一つの大きな謎が存在すると言えます。イザヤ書を紐解いていくとそこに書かれていることは通常の教義、つまり日曜学校で教えられているような内容とさほど変わらない中身だということに気が付き始めるでしょう。それではなぜ数々の預言者がイザヤの言葉を尊重し、そして主ご自身が私たち一人一人にイザヤの言葉を研究するように言われたのでしょうか？これがイザヤ書の謎です。私たちは生涯をかけてその謎に取り組む必要があります。ただ一つわかっているのは「<u>そこには答えがある</u>」ということです。以下に謎解きの助けになるようにいくつかの聖句を挙げておきます。</p> <p>まことにわたしは、これらのこと<u>を熱心に調べるために</u>という戒めを、あなたがたに与える。イザヤの言葉はまことに偉大だからである。 (ニーファイ第三書 23:1)</p> <p>そして、これらの<u>分かりやすくて貴い</u>部分が取り去られてから、この書物は異邦人であるすべての国民に伝わる。・・・それは、神の小羊にある明瞭さによって人の子らに理解しやすかった、<u>分かりやすくて貴い</u>多くの部分が、その書物から取り去られてしまったため、すなわち小羊の福音からこれらのが取り去られてしまったためである。 (ニーファイ第一書 13 : 29)</p> <p>さて、わたしはイザヤの言葉を少し書き記して、・・・すべての人のために喜べるようにしよう。さあ、その言葉は次の通りである。あなたがたはこれらを、<u>自分自身とすべての人に当てはめてみるがよい</u>。 (ニーファイ第二書 11 : 8)</p> <p>それでわたしは兄たちに言った。「この預言者の言葉を聞いてください。・・・その言葉を自分自身に当てはめてください。この預言者はそのように書き記しているからです。」 (ニーファイ第一書 19 : 24)</p> |
|--|---|